

各教育事務所の調査結果

阿蘇教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
 - (1) 小学校の成果と課題
 - (2) 中学校の成果と課題
- 2 質問紙調査結果と分析
 - (1) 児童・生徒質問紙調査結果
 - (2) 学校質問紙調査
 - (3) 質問紙調査に関する分析
- 3 今後の取組の重点事項

1 (1) 小学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと。【関連問題 A5】
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと。【関連問題 B3二】

算数 成果が見られた内容

- 1に当たる大きさを求める問題の関係を理解し、数直線上に表すことができること。【関連問題 A1(2)】
- 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができること。【関連問題 B1(1)】

理科 成果が見られた内容

- 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解していること。【関連問題 1(3)】
- 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できること。【関連問題 1(4)】

課題

国語 課題が見られた内容

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと。【関連問題 A1】
- 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えること。【関連問題 B2一】

算数 課題が見られた内容

- 円周率の意味について理解していること。【関連問題 A7(1)】
- 折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができること。【関連問題 5(2)】

理科 課題が見られた内容

- より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できること。【関連問題 2(4)】
- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できること。【関連問題 3(1)】

1 (2) 中学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

- 文脈に即して漢字を正しく書くこと。
【関連問題 A8-2】
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと。
【関連問題 A8三才】

数学 成果が見られた内容

- 折り目の線の作図と角の二等分線の関係を理解していること。
【関連問題 A4(2)】
- 長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解していること。【関連問題 A7(2)】

理科 成果が見られた内容

- 光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できること。【関連問題 1(1)】
- アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けていること。【関連問題 8(1)】

課題

国語 課題が見られた内容

- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。
【関連問題 A8六2】
- 文章の構成や展開について自分の考えをもつこと。
【関連問題 B1二】

数学 課題が見られた内容

- 絶対値の意味を理解すること。
【関連問題 A1(2)】
- 証明の必要性と意味を理解すること。
【関連問題 A8】
- 事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができること。
【関連問題 B2(2)】

理科 課題が見られた内容

- 電流計は回路に直列に接続するという技能及び電流計の電気用図記号の知識を身に付けていること。
【関連問題 6(1)】
- オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができること。
【関連問題 6(2)】

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主体的・対話的で深い学びの視点から	1.5年生(中学2年生)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	80.1	76.3	76.7	67.4	70.5	73.8
	2.5年生(中学2年生)までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	63.9	59.0	61.0	38.9	46.2	53.8
	3.学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	81.4	77.3	77.7	77.8	75.7	76.3
規範意識・自己有用感等	4.自分には、よいところがあると思いますか	82.5	84.1	84.0	78.2	78.1	78.8
	5.先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	85.1	85.3	85.3	81.3	80.6	82.2
	6.将来の夢や目標を持っていますか	90.7	85.0	85.1	71.9	72.4	72.4
	7.学校のきまりを守っていますか	92.6	90.3	89.5	98.1	94.8	95.1
	8.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.1	96.8	96.8	99.0	96.4	95.5
	9.人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.3	95.1	95.2	97.1	96.1	94.9

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
学習習慣等	10.家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	67.2	64.6	67.6	51.2	47.7	52.1
	11.家で、学校の宿題をしていますか	96.3	96.4	97.1	95.0	90.7	91.6
	12.家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	66.1	61.9	62.6	37.5	50.4	55.2
	13.家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	71.6	73.2	69.9	57.7	69.7	71.3
生活習慣等	14.毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	76.5	76.5	77.0	69.0	73.6	74.2
	15.家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	79.0	78.6	80.5	78.8	76.8	76.0
地域や社会	16.今住んでいる地域の行事に参加していますか	72.4	66.0	62.7	44.4	40.7	45.6
	17.地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	54.4	50.0	49.9	35.5	36.1	38.7
	18.地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	48.4	40.1	41.6	24.6	23.0	25.5

2 (2) 学校質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	1. 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか(新規)	95.0	88.1	83.6	100	75.4	80.8
	2. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	100	97.4	93.0	90.0	95.8	92.6
	3. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数・数学共通)	80.0	87.8	84.4	80.0	68.6	73.7
カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況	4. 児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	100	97.1	94.9	100	94.6	93.1
	5. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.4	94.4	100	96.3	91.8
	6. 学校として業務改善に取り組んでいますか(新規)	100	98.5	97.4	100	97.6	96.8
教職員の資質能力の向上	7. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	100	99.4	96.7	100	93.3	90.9
	8. 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	100	97.6	95.1	90.0	87.3	85.4
個別に感じた指導	9. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	35.0	42.3	35.2	70.0	42.2	28.6

2 (2) 学校質問紙調査結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
自己有用感 規範意識	10. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	100	100	99.0	100	98.8	97.9
家庭学習	11. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）	90.0	91.5	91.6	100	90.4	87.1
地域や学校に関する取組	12. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	95.0	87.8	86.2	90.0	83.7	79.8
家庭や地域との連携	13. 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか（新規）	95.0	90.3	90.6	90.0	84.3	85.2
	14. 保護者や地域の人々が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100	99.5	97.7	100	94.6	90.4
	15. 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	100	80.2	72.8	90.0	69.9	60.7
	16. 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	100	97.7	95.4	100	90.3	88.6
全国学力・学習状況調査等の活用	17. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	98.9	97.6	100	95.8	96.1
	18. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	100	91.9	92.3	90.0	82.5	88.5

2 (3) 質問紙調査に関する分析

【児童・生徒質問紙調査結果から】

- 小学校では「自分にはよいところがある」「先生はあなたのよいところを認めてくれている」の項目が、県をわずかに下回っている。
- 中学校では「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたか」「自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか」の項目が、県を下回っている。
- 小中学校共通で「家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習しているか」の項目が、県を下回っている。特に中学校では10ポイント以上下回っている。また、中学校では「家で学校の授業の予習・復習をしているか」の項目も10ポイント以上下回っている。

【学校質問紙調査結果から】

- 小学校では「家庭学習の課題の与え方について共通理解を図ったか」の項目が、県を下回っている。また「家庭学習の取組として調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えたか」「算数の授業において習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしたか」の項目が、共に県を7ポイント以上下回っている。
- 中学校では「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたか」の項目が、県を5ポイント以上下回っている。

3 今後の取組の重点事項

重点事項①

「分かる授業づくり」を通して「〇〇が好き」を増やしましょう。

- 中学校では、特に「分かる授業づくり」を行う。「分からない」と感じている生徒を確実に把握し、個に応じた指導の工夫を行う。
- 小学校では、特に「好き」を減らさない工夫を行う。児童の実態に応じて「発展的な学習」を積極的に実施する。
- 「分かる授業づくり」のために、徹底指導を確実に行う。徹底指導は「態度の徹底（学習規律・学習ルール）」と「内容定着の徹底（形成的評価で確認）」を行う。

重点事項②

1時間の授業の中で一人一人に「できる」を実感させましょう。

- 授業の中で常に形成的評価をしながら、「指導と評価の一体化」を図る。
- 振り返る活動や適用問題を確実にを行い、一人一人に「できる」を実感させる。
- 技能教科においても「できる」を実感するような指導の工夫を行う。

重点事項③

4つの整合性プラス1と確実な授業の「自己分析（自評）」を行いましょう。

- 4つの整合性（目標⇔評価、めあて⇔まとめ）を図り、プラス振り返り（適用問題等）を行う。
- 授業後に、「本時の目標の達成度とその根拠、達成できなかったところとその根拠、そして改善策」について振り返る。

重点事項④

「徹底指導」と「能動型学習」の質の向上を図りましょう。

- 「態度の徹底」と「内容の徹底」を図る。
- 「能動型学習」の場面を見極め、授業のねらいにそって教師がコーディネートをする。

重点事項⑤

研究授業（小研等も含む）を通して、阿蘇全体の更なる「授業力」向上を目指しましょう。

- 「授業に対する意識」と「教師の授業力」を学校全体で共有し向上させる。
- お互いに授業を参観する機会を持ち、授業改善に生かす。

重点事項⑥

家庭学習の課題の与え方について全職員で共通理解を図りましょう。

- 補充的な内容から発展的な内容まで、個に応じた課題の与え方を工夫する。